

はじめてでも大丈夫!!

# あなたの実践活動を学会発表しませんか？ 2時間で学べる実践報告のコツ

日本健康教育学会は、地域、職域、学校、海外などさまざまな現場で、健康教育やヘルスプロモーションを実践する多職種が集う学会です。学会では、研究者が学術的な報告を行いますが、現場の実践家が参加する日本健康教育学会は、多くの現場からの情報発信が期待されています！

第26回日本健康教育学会学術大会では、学術大会学会長 荒尾先生の意向もあり、特に現場からの発信が期待されています！そのため、実践報告には<荒尾賞>も予定されています！

でも、実践報告をどうやったらいいのかわからないという方も多くありません。「こんな内容で発表してよいのか」「学術的じゃない」「評価ができていない」「良い取り組みをしていると思うけど、抄録の書き方がわからない」など様々な声が聞かれます。今回、日本健康教育学会学術大会・連動企画として、学会の締め切り前に、実践報告のHow toを共有するセミナーを企画しました。報告経験のある先輩からの、実例発表も予定されています。様々な分野の健康教育、ヘルスプロモーションの実践家の方のご参加をお待ちしています！！



WHP (work place health promotion) の例



日時：2016年12月26日（月）19時～21時

場所：早稲田大学（早稲田キャンパス）26号館502教室

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

<講演>

1, 開会の辞：実践報告の重要性と第26回日本健康教育学会へのお誘い

早稲田大学教授・第26回日本健康教育学会学術大会長 荒尾孝

2, 素敵な実践報告の作り方「現場の中心で活動を叫ぶ」

順天堂大学准教授・第26回日本健康教育学会学術大会企画委員長 福田洋

3, 私の実践報告 show case

楠本真理 三井化学（株）保健師ほか

経験者が語る！地域編、職域編、学校編からの実践報告体験談

4, カンタン！演題登録してみよう！

早稲田大学スポーツ科学学術院・助手 松下宗洋

順天堂大学准教授・第26回日本健康教育学会学術大会企画委員長 福田洋

※参加費無料 皆様の参加をお待ちしています！